



「鳥と旅する町・小清水町でカヤック体験！ ボードウォッチング&サイクリング」を 開催しました

6月25日、FM北海道「A-R-G」と小清水町観光協会の連携イベント「鳥と旅する町・小清水町でカヤック体験！ボードウォッチング&サイクリング」を開催しました。A-R-Gのパーソナリティ大野真奈さんをゲストに迎え、夏季限定の環境調査的アクティビティ「瀧沸湖エコツアール」にサイクリングとボードウォッチングを組み合わせた内容で、12人が参加。

カヤックでめぐる「瀧沸湖エコツアール」はラムサール条約の理念にある「ワイズユース」(賢明な利用)に基づくもので、人間の生活環境や社会活動と関わりの深い湖を大切に活用しながら、維持と保全をバランス良く進めていくという考えがあります。参加された方々は湖岸に近づかず、大きな音を出さないなどの「鳥類ファースト」を守りながら、瀧沸湖が誇る雄大な自然を満喫していました。

トリタビ TORI TABI トリタビタイムズ vol.2



3年ぶりに帰ってきた 「なつ！夏！はな＊花フェスティバル」

7月10日、小清水原生花園で夏のイベント「なつ！夏！はな＊花フェスティバル」を開催しました。新型コロナウイルスの影響で中止が続いていたため、3年ぶりの開催となった本イベントは、人気の「すなはま宝探し」に加え、「ビーチサンダル飛ばし選手権」「謎解きキーワード集め」の3つの内容。

途中、雨に見舞われたものの、各プログラムとも好評で、砂浜に隠された「お宝」を探し当てる「すなはま宝探し」はほぼ満員。「ビーチサンダル飛ばし選手権」は、距離の測定をしないレクリエーションとなりましたが、ビーチサンダルの行方と飛距離に歓声が響きました。「謎解きキーワード集め」も盛況で、訪れた方々は花盛りの小清水原生花園を楽しんでいました。

「FCベーネ」が北北海道大会出場！



6月18日から2日間、津別町で行われた「第19回全道少年U-10サッカー北北海道大会 オホーツク地区予選大会」において、サッカー少年団「FCベーネ」が準優勝を果たしました。予選リーグ、決勝トーナメントを順調に勝ち抜き決勝に進出。決勝戦では延長戦で失点し、惜しくも準優勝となりましたが、見事北北海道大会への切符を手に入れました。

7月16日から帯広市で行われた北北海道大会では、道北地区の代表に敗退し目標のベスト8には届きませんでした。が、はつらつとしたプレーを見せてくれました。各種大会で躍動するFCベーネの選手皆さん。今後も活躍が楽しみです。

園児達も がんばりました



6月25日(土)に小清水幼稚園で、7月2日(土)に町立小清水保育所で運動会が行われました。

両日とも夏の始まりを感じるような、照りつける日差しの中での運動会となりましたが、園児達は日頃の練習の成果を発揮して、笑顔いっぱい、元気いっぱい楽しんでました。

暑さに負けずがんばる園児達の姿に、先生方や応援していた保護者の皆さんも、パワーをもらいました。

租税教室



6月29日(水)、役場町民生活課税務係の職員が先生となり、小清水小学校の6年生に「租税教室」を開催しました。

身近な消費税のことや小中学校の活動に使われる教育費や給食費にどれだけの税金が使われているかを学び、ア二×「もしも税金がなくなったら社会はどうなるのか？」を観賞し、税金の使い道について学習しました。

児童たちは、元気に挙手や発言をし、積極的に授業に取り組んでいました。また、現金1億円の重さ当てクイズでは、1億円のレプリカを実際を持って、その重さを体験し、驚きの声を上げていました。